

令和4(2022)年2月

東京都



「未来の東京」戦略 version up 2022

「未来の東京」戦略 version up 2022 目次

01 「未来の東京」戦略を実行する …… 3

- ✓ 「未来の東京」戦略を実行する …… 4
 - ✓ 政策をバージョンアップする6つの切り口 …… 7
 - ✓ 東京2020大会の成果と状況変化を踏まえ、 …… 6
 - ✓ 「サステナブル・リカバリー」の取組を推進 …… 8
- 政策をバージョンアップ

02 TOKYO2020の成果を未来へつなぐ …… 1 1

03 6つの切り口で政策をバージョンアップ… 3 1

- ① 安全安心：都民の命と生活を守る基盤「危機管理」 …… 3 3
- ② 共生社会：バリアフリー「段差のない社会」 …… 4 9
- ③ グリーン&デジタル：自然と共生した持続可能な都市… 6 5
- ④ グローバル：世界から選ばれる金融・経済・文化都市… 7 7
- ⑤ チルドレンファースト：子供の目線からの政策展開… 9 5
- ⑥ 都政の構造改革：シン・トセイの加速… 1 1 1

04 みんなでつくる「未来の東京」 …… 1 1 7

- ✓ 「多摩・島しょ振興戦略」の更なる推進に向けて …… 1 1 8
- ✓ オールジャパン連携の推進 …… 1 2 4
- ✓ SDGsの目線で政策を展開する …… 1 2 6
- ✓ 区市町村との連携を更に深めていく …… 1 2 8
- ✓ 「『未来の東京』戦略」の推進に向けた取組 …… 1 3 0
- ✓ デジタルを活用した都民意見アンケート …… 1 3 1

※ 「『未来の東京』戦略 version up 2022」は、令和3年3月に発出した「『未来の東京』戦略」と一体として、「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）第9条第1項にいう「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付ける。

政策をバージョンアップする6つの切り口

①安全安心

都民の命と生活を守る基盤「危機管理」

■ 新たな調節池整備
に着手



■ 東京 i CDCの機能を一層強化し
感染症に強い都市へ



■ 島しょ地域など
無電柱化を加速



■ 東京の危機克服・都市強靱化
10か年プロジェクト

■ DX等を活用し、自然災害への備えを強化

③グリーン& デジタル

自然と共生した持続可能な都市

■ 「2030年カーボンハーフ」に向け、建築物の
ゼロエミ化、自動車の脱炭素化等を強力に推進

■ ウォークラブルな「人中心」
のまちづくりを推進

■ 「スマート東京」先行実施エリアの
取組強化・横展開



■ 緑を「守る」「増やす」取組を多面的に展開
■ 外濠浄化の推進により「水の都」を実現



⑤チルドレン ファースト

子供の目線からの政策展開

■ 子供政策を総合的に
推進する体制を構築

■ 官民一体となった
「こどもスマイルムーブメント」
を戦略的に展開



■ 子供の参加・対話を通じて
政策の質を向上

■ DXや社会の力を一層活用し、
新たな「東京型教育モデル」を強化

■ 誰一人取り残さない視点から
子供へのサポートを強化



②共生社会

バリアフリー「段差のない社会」

■ あらゆる施策の多様性と包摂性を高め
共生社会を実現



■ 都内全域で
「段差のない社会」を創出



■ 若者・ひとり親家庭など、
困難を抱える方へのサポート

■ 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）解消など、女性の活躍を加速

■ デジタル等を活用した高齢者のQOL向上を一層推進



■ 成長分野への就業支援、長期失業者への集中的なフォローアップ

④グローバル

世界から選ばれる金融・経済・文化都市

■ 世界最先端を実現する
東京ベイ e S Gプロジェクトを推進



世界発信

■ 東京が誇る「観光」を再興し、
「食」の魅力を高める多様な
振興策を展開



■ 国際金融都市に向けた歩みを進める
■ 文化・エンターテインメントがあふれる
「楽しさ」を生み続ける都市へと進化

⑥都政の構造改革

シン・トセイの加速

■ 5つのスタンスで改革を更に実践

- ユーザーとの対話を徹底する
- QOSを徹底して数値化し、デジタルで爆上げする
- 働く環境を変えることで、人を、仕事を、組織を変える
- 制度や仕組みなどの構造的な課題に切り込む
- 変革をスピードアップし、サービスをいち早く実現する



シン・トセイ2

■ コア・プロジェクトを加速しデジタルガバメント・都庁の基盤を構築
■ 各局リーディング・プロジェクトを拡充し、都政のQOSを飛躍的に向上

- 長期的には、玉川上水の水を元の多摩川から引き、本来の玉川上水の姿に甦らせる可能性を展望
- 当面は、外濠への必要な導水量を確保するための水源・水量の確保及び暗渠区間の改良や導水路の整備に着手するとともに、玉川上水の調査等の実施や多様な主体との協働に関する方策を検討
- 歴史的財産である外濠の水質改善を進め、都心で働く人々に癒しの場を提供するとともに、品格ある景観を形成し、魅力あるまちづくりへとつなげる



具体的な取組 (主要)	年次計画			
	2021年度末 (見込み)	2022年度	2023年度	2024年度
人々が憩う外濠の水辺再生	詳細調査・基本計画検討※1	必要となる施設の基本設計・詳細設計	基本設計・詳細設計・工事施工など	
多摩川からの通水の可能性の展望	玉川上水の構造物健全度調査等			
雨水流入対策※2	累計150万m ³	1万m ³ (累計151万m ³)	19万m ³ (累計170万m ³)	-

※1：玉川上水暗渠部等の活用可能な既設水路や導水施設の新設が必要となる区間の調査・検討 ※2：降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設等の整備、ただし、貯留量は区部における累計値を示す